

# 和太鼓と篠笛の夕べ

朋郎  
TOMORO

関西ツアー

in

日高川交流センター



**朋郎(ともろう) = 内藤哲郎(和太鼓) + 武田朋子(篠笛)**

和太鼓と篠笛という、日本古来から伝わる打楽器と旋律楽器を駆使してオリジナル音楽を生み出し、日本各地、世界各国を旅するDUO。笛と太鼓が緩急自在、変幻自在に絡み合うかけひきて強烈なグルーブと鮮烈な情景を巻き起こすライブを展開。これまでに3枚のアルバムを発売し、テレビやラジオでも多数起用。

日時 8月6日(火)開場 18:30 開演 19:00

場所 日高川交流センター

チケット 2000円 ※小学生1000円(当日500円増)

【チケット取り扱い・予約】  
日高川交流センター

【問い合わせ先・予約】  
原 啓司(090-6985-2856)  
小早川淳(090-7756-1286)



**内藤哲郎(ないとうてつろう・和太鼓)**

高い技術に裏打ちされた、繊細な表現とその音色の美しさは他の追随を許さない。唄うように流れるリズムの旋律こそが、確固たる内藤哲郎独自の太鼓表現である。和太鼓芸能集団「鼓童」の中心的プレイヤーとして日本国内、世界各国を巡り、演奏、演出、作曲などで活躍後、鼓童より独立。和太鼓奏者として角松敏生、DJ クラッシュ、吉田兄弟など様々なアーティストのアルバムに参加し、国内外のツアーに同行し、共演するアーティストは多岐にわたる。同時に自身のユニットの公演、ツアー、レコーディング、また各地の和太鼓グループへの作曲、指導とその活動は幅広く精力的に行っている。和太鼓という極めて原始的な楽器を駆使した表現やその魅力・可能性を追求し続けている。

「和太鼓奏者内藤哲郎の日々云々」 <https://ameblo.jp/haretokeman>

**武田朋子(たけだともこ・篠笛)**

江戸囃子の太鼓・笛を習得し、「鼓童」文化財団研修所にて研修を終了。能管を能楽の笛方・一噌幸弘氏に師事。祭り囃子や古典芸能をベースとしたオリジナル曲を得意とし、数多くの作品を生み出している。ゆず、青柳拓次、大友克洋作の映画「火要鎮」など、様々なレコーディングに篠笛や能管で参加。上海万博、アスタナ万博、平昌オリンピック公式文化行事に参加するなど海外演奏も多数。フラメンコや一人芝居、文楽人形やダンスなど、舞台作品での演奏も多く手がけ、日本各地、世界各地で幅広く活動中。 <https://tomoko-takeda.net/#info>

